

拔萃

獨逸人の觀たる我國の製鐵業

松 魚 生

(Stahl und Eisen, Juli 23, 1921.)

日本は既に數年以前から歐洲に於ける注意の焦點となつて居たが、然し依然として對岸の火災視せらるゝに過ぎなかつた處が今回の歐洲大戰の結果世界經濟との密接なる關係上其の形勢は歐洲の夫に益々接近するに至つたのである。即ち吾人は日本を歐洲の諸國と比較するに領域の面積に於ても又文化の程度に於ても其間に殆ど著しき差別を認める事が不可能である。翻つて米國との關係を見るに政治に又經濟に米國とは特に密接なる關係を有するものであつて日米兩國間の懸隔も亦昔日の様などはなくなつた、日本は現在經濟上に於て一層世間の視聽を喚起するに至つたが、今日世界の經濟狀態に關して云々せんとする者は最近歐米に跨れる一大經濟家族の一員として權能を與へらるゝに至れる日本なる國を除外する事は元より不可能である、更に日本は世界の經濟と頗る重大なる關係を有せる世界市場に於ても亦漸く重要視せらるゝに至れる事是否む可からざる事實である。

今回の戰亂に際し日本は鐵鋼市場に於て當然重を爲したものである。従て今日世界の危機に於ける一般的の産業不振に關して特に鐵鋼界の經濟事情に就て論議せんとする時吾人は先づ日本を看過する事は許されない、日本は現在其の製鐵事

業に於て世界鐵鋼業の一部を代表して居るものである。

此の世界的不況の最近の原因としては價格の動搖並に之に基ける買方の躊躇等が主なるものであつて、日本も亦此の不況の打撃を免れる事は出来なかつたのである。

然し乍ら一般の世界の狀態に比べて日本を觀察するに其の産業の不況は實に一層甚しいものがある、營業不振と云へば今日各種の事業は何れも不景氣の爲に辛くも息をついて居る狀態であるが、鐵鋼業の如きは其中でも打撃を受けた事が一段と激しい様である。

日本は世人の知れる如く既に一九二〇年の初期以來其の經濟界は一般的不況の影響を蒙つて危機に瀕して居たものであるが其の打撃が又實に前代未聞とも稱すべき程度に及べるものであつた、然し乍ら世界の戰亂に於て空前絶後の大發展を行へる日本に於ては斯の如き不況を寧ろ當然勃發すべき反動たるに過ぎなかつた。

日本に於ける製鐵事業が斯の如き稀有の大發展を爲せる後に又極めて悲慘なる自然的の反動に接しなければならなかつた原因としては次に記すが如く日本製鐵業の發展に對して誠に特種なるものある事を忘れてはならぬ。

抑も日本の製鐵會社は歐洲の戰亂によりて其の創立を促されたるものなるに其の總ては戰時中大發展を爲した上吾人の想像し得べき最高限度に於て正に一攫千金の富を得たものである然るに吾人が歐米に於て誠に當然の事と認むる如き相當の緊縮的財政々策なるものは日本に於ては行はれなかつた、其結果日本は夢から醒め其の工業界は最高限度の緊張振を示すに至つたが然し未だ經濟組織の實施を見るには至らなかつ

た。

此の經濟組織なるものは歐洲の經濟界に於て徐々に然し立派に發達せるものであつて、此の組織の成立する以前に於ては歐洲の經濟界に於ても今日程ではないが屢々破壞的の打撃を蒙つたものである。技術の方面に於ても亦同様である。

歐洲の諸國が日本から鐵鋼を購入せる當時を回顧すれば今更の様に列國の困窮が如何に甚しかりしかが忍ばれるではないか、現在にありては列國は再び其の優良なる歐洲の製品を日本に向つて輸出する次第であるが、日本としても海外から賞賛に値すべき優良品を得ることが出来る爲に外國に注文すると云ふ事が強い習性となつて居る、鐵鋼具に於ても正に此の通りである。

日本に於ては今日最早や外國に比べて頗る安價なる勞力を期待する事は不可能である、歐洲の大戦以前に於ては日本の勞働者は唯々諾々として命是れ從ふと云ふ有様であつて從て歐洲に於けるが如き意味の勞働問題は起らなかつたが、現在にありては日本に於ても亦勞働條件の改善特に勞銀の値上に關する爭議が議事日程の中に掲げられてある。

斯の如き國內の事情に關連せる困難に加ふるに今や海外の影響を受けて鐵鋼の價格は大暴落を爲すに至つた、然し之は一般の世界市場の状態から見るときは當然起り得べき現象に過ぎなかつた、一九二〇年の初期に於て尙一噸當り三〇〇圓を値せし銑鐵は（譯者註三〇〇圓は誤なる可し）今日凡そ八〇圓を以て取引せらるゝに至つたが更に一步を進めて一噸六二圓と云ふ値段が現はれて居る、然るに生産費は如何にと云へば一噸一〇〇圓乃至一二〇圓を要する有様である、但し八

幡に於ける官營の大製鐵所に於てのみ一噸當り生産費約九〇圓と稱せられて居る日本に於ては一時造船業の隆々たる發達に依りて不況を挽回するとを得る者と期待せるともあつた、而して又實際に日本は世界の戰亂に依りて好況を呈するに至つたが、更に大規模に計畫せる艦體の編成に着手する時其の世界的通商貿易の威力は初めて安定になるものであると云ふ獨特の確信を以て造船計畫の實現に着手し全世界を驚倒せしむるに至つたのである而して一九二〇年の統計に依ると同年度に於ける鐵鋼の總産額は正に一九〇四年以降一九一二年に亘れる九ヶ年間の總産類に匹敵するものである。

然し造船事業に於ては經驗に乏しき新參者が過大の熱心を以て之に當りたるも其の努力は空しくして豫期せる成績を收むることは出来なかつたのである、其他全世界に及べる驚く可き運賃の低落が造船業に於ける極めて過激なる危機を招來するに與つて力あるものであつた。

日本造船業者の最も甚しき失敗と稱すべきは彼等が能く時勢を洞察するの明なく市況は恢復すべきものと信じ若しくは尠くとも現状維持に止る可きものとなし、實際の注文に應ずるに非ずして仕入船として作業を繼續せるの一事である、從て其の反動も亦激しかつた譯である、斯の如くにして造船業の最も盛大なる土地即ち大阪に於ては彼等造船業者の殆ど凡てが作業を休止するに至つた、即ち戰時中作業を繼續せる七四の造船工場の中今日尙依然として事業を經營せるものは僅に二一乃至二二箇所に過ぎぬ、二、三の造船所の如きは其の工場に於て全然船以外の製造に従事して居る次第である、處が別に數年以來頗る囑望されて居た或る計畫を以てすれば此等

製鐵業者の不況を救済する事が出来たのであつた。

即ち日本に於ては世界周知の問題として狹軌を廣軌に爲す鐵道改造の計畫があつたのである、廣軌に改造すれば各地間の交通を一層圓滑にし、又鐵道に依る運搬能力を増加する事が出来る譯である、然し乍ら此の計畫も政府經費の都合上躊躇して居るので當分改造の見込はないのである。

政府の斯の如き因循なる他の一例として其の鐵道網に對する態度である、即ち其の完成の曉に於ては著しき成績を擧ぐるものあるにも拘はらず、其の建設事業の進行は頗る遅々たるものである。

最近に於ける日本の財政計畫に於ては陸海軍に於て著しく鐵材を使用せんとするものなるを以て其の計畫が實現せらるゝ曉に於ては製鐵業の不振も亦幾分挽回せらるゝことであらう。豫算總額一、五六二、〇〇〇、〇〇〇圓の内にて七三二、二八一、〇〇〇圓が軍事費に充てられたるを以て鑄鋼製品に對しても多額の豫算が割當てられて居るのである。

然し乍ら其の大勢より論ずる時は形勢は依然として頗る困難である、而して政府と議會とは恒に緊張せる注意を此の鐵の問題に注いで居る。即ち鐵の問題は此後尙繼續して益々強固なる可き世界的貿易國なる日本の運命に多少關係を及ぼすものがある、換言すれば製鐵業の不況は日本の世界的貿易に影響を及ぼすものがあるのである。

此の問題を論議するに當りては先づ左記の事項を豫め承認することが必要である、即ち此の困難なる問題の解決に當つて先づ第一に製鐵事業と航海即ち造船事業との密接なる關係に注目することが肝要である、此際航海業の發達は日本の一

般的世界貿易に於ても、又同時に鑄鋼事業の方面に於ても一條の活路を開く爲に最も重要な方法たるのみならず造船事業なるものが製鐵業者に對し最大限度に於て職を授けるものである。

此の點に關しては先に第一卷第一號に於て其の概略を配述せるを以て製鐵事業と同時に造船事業の必要な事は其に依つて讀者に了解せらるゝ事と思ふ。

政府の任命せる財政經濟委員會が製鐵業者の救済に關して提出せる動議の根本は次の四個條に示す如きものである。

- (一)總て重要な製鐵工場を合同する事
- (二)保護關稅を實施する事
- (三)海外より輸入する造船材料に關稅を免除する事
- (四)内地の生産に係る鋼材を造船事業に使用する場合之を保護する事

内地の製鐵業者を一般的に保護する事に就ては尙他に救助の方法や保護の規定が案出せられて居る。

合同の意見は今や工業の方面に限らず政府援助の下に内地の航海業者トラストを建設し其の主腦として最大會社たる日本郵船會社を選定した、右の合同は歐洲の大戦以來英米の競争が日本の航海業者に特に激しき苦痛を與へて居る際なるを以て其丈重大視されて居る。

工場の場合と云ふ事は日本に於ては若干の困難を感ずるものである、然して次に記述するが如きは近年に於ける狂暴的發展の結果として常に起る可き事であるが、各工場の規模又は其の作業状態が頗る異なるに更に各會社の基本金額に於て其の懸隔甚しきものあるを以て合同の困難なるは誠に無理

ならぬ次第である。

合同の必要は今日益々急にして政府の任命せる特別調査委員會は主要なる各工場間の經濟的協力を促して居る、而して日本の鋼鐵トラストを云々する位の程度迄話が進んで來て居る、但し此際國家が財政上の援助を與ふ可きや否やに就ては目下熟慮中に屬するものゝ如くである。

製鐵事業の擴張に對する内地の原料に就て云へば既に世人の知れる如く頗る多量の石炭を産出するものなるが此の石炭は全く只其の一部のみが工業用に供せらるゝものであつて、海外から輸入する量殊に支那から供給せらるゝ量は年と共に益々増加して居る、而して日本が實際に困難を感じて居るものは鑛量の豊富ならざる事である、即ち日本の鐵山としては唯其の少數のものゝのみが而かも謙遜的に鑛石を供給して居る、鐵鑛石に於ても亦支那が日本に對する最も重要なる供給者である。

現在の狀態から察するに日本は將來ヒリッピンに於ける豊富なる鐵鑛に着眼するに至るであらう、其の埋藏鑛量は專家の意見に依れば五億噸以上に達する見込である。

近頃問題になつて居る火山岩系の砂鐵は日本に於て昔から鋼の製造に利用されたものであるが、之を原料とする製鐵法が成功せる曉に於ては日本は外國の鋼の御厄介にならずに濟むものであると云ふ望を以て一九二〇年の秋以來砂鐵製煉の研究を始めて居るが、今日に於ては最早好結果を收むるに至りしことであらう、然し砂鐵製煉なるものが經濟上に於ても亦満足すべき結果を得たるや否やに關しては今日未だ其の消息に接して居らぬ。

加奈陀に於ける鐵鋼業狀況

(大正十年十一月十二日、在オタ)
マ帝國總領事清水精三郎報告)

鐵鋼業の一般狀況 鐵鋼業は加奈陀に於て比較的新なる工業なるも其發達の程度甚だ迅速にして一九一四年には世界に於て鐵鋼產出國中第八位を占め全國の鑛鑪二十二基、毎日の生産能力四千四百四十噸と稱せられたり。

現時最も著名なる會社はノバスコシヤ州シドニー市のドミニオン鐵鋼會社、同州ニュー・グラスゴー市のノバスコシヤ製鋼會社、オンタリオ州スー・サン・メリー市のアルゴマ製鋼會社及同州ハミルトン市の加奈陀製鋼會社にして是等の會社は自家製造の銑鐵より鋼鐵精製品を製造するものにして其他五、六の小會社は單に銑鐵のみを製造す。

一九二〇年鐵鋼業の趨勢を見るに同年末に至る迄價格竝に需要共に益々昂騰の勢を示せり、此の傾向は一般市場に襲來せる不況の影響が年末に近づき漸く顯著なるに至りて始めて其進行を阻止せられ價格低落の方向に傾けるを見る。

一九二〇年の初頭に當りては世界全般に互りて鐵鋼の需要強大にして加奈陀の生産能力は其極限迄驅使せられ鐵道罷業に依る貨物の停滯、石炭罷業に基く石炭の缺乏、勞働爭議等各種の困難ありたるに拘らず、只管生産増加に努めたり、物價騰貴の勢に伴ひ鐵鋼の價格亦自然引上げられたるに拘らず、歐洲其他の需要は内國の需要と相待ち驚くべき、消費力を示し以て戰時中鐵鋼に對する通常の需要が如何に壓迫せられ居りしかを示せり。

(以上)